

「第90回箱根駅伝」応援パンフレット

学務事務室、学生課、入学センター、生協等に設置しておりますので、ご自由にお持ちください。



復活

箱根駅伝途中棄権から
飛躍するために



中央大学駅伝チーム
～85年連続88回出場～
「第90回箱根駅伝」応援パンフレット

第90回東京箱根間往復大学駅伝競走 (2014.1.2(Thu) - 1.3(Fri) 8:00スタート)

挑み続ける56人

Member 部員	代田 修平 あきひら ともかず 所属: 成城大学 所属: 成城大学	矢崎 遼 やまざき りゅう 所属: 成城大学 所属: 成城大学	相埒 祐人 あいはら ゆうと 所属: 慶応義塾大学 所属: 慶応義塾大学	上田 拓 かみのうえ ひろし 所属: 山口商大 所属: 山口商大	須河 宏紀 すかの ひろき 所属: 東山商大 所属: 東山商大	西崎 悠 にしざき ゆう 所属: 区立白河 所属: 区立白河	八田 康裕 やちだ ひろゆき 所属: 愛媛商大 所属: 愛媛商大	上野 将史 あきのの まさし 所属: 成城大学 所属: 成城大学	榎井 裕太 えのい ゆうた 所属: 成城大学 所属: 成城大学	早川 文人 はやがわ ぶんじん 所属: 成城大学 所属: 成城大学	戸塚 剛介 とづか つよし 所属: 成城大学 所属: 成城大学	新垣 彰輝 あらがき しょうき 所属: 成城大学 所属: 成城大学	市田 拓海 いちだ たくみ 所属: 成城大学 所属: 成城大学	高井 将斗 たかい まさと 所属: 成城大学 所属: 成城大学													
加納 勇 かの ゆう 所属: 成城大学 所属: 成城大学	岩本 圭一郎 いわた けいいちろう 所属: 成城大学 所属: 成城大学	堀田 翠輔 ほりた 翠輔 所属: 成城大学 所属: 成城大学	小池 誠也 こいけ せいや 所属: 成城大学 所属: 成城大学	新塚 佑加 しんづか ゆうか 所属: 成城大学 所属: 成城大学	鈴木 修平 すずき しゅうへい 所属: 成城大学 所属: 成城大学	相馬 一生 あいはら いっせい 所属: 成城大学 所属: 成城大学	谷 星輝 や せい輝 所属: 成城大学 所属: 成城大学	谷本 拓巳 やもと たくみ 所属: 成城大学 所属: 成城大学	渡辺 修平 わたべ しゅうへい 所属: 成城大学 所属: 成城大学	北云 遼 きたぐも りゅう 所属: 成城大学 所属: 成城大学	片瀬 祐樹 かたせ ゆうじゅ 所属: 成城大学 所属: 成城大学	松本 龍晴 まつもと りゅうはる 所属: 成城大学 所属: 成城大学	三宅 一輝 みやけ ひと輝 所属: 成城大学 所属: 成城大学	吉田 匡佑 よしかわ まさゆき 所属: 成城大学 所属: 成城大学	渡辺 良明 わたべ りょうめい 所属: 成城大学 所属: 成城大学	秋山 輝佑 あきやま てるゆき 所属: 成城大学 所属: 成城大学	谷 星輝 や せい輝 所属: 成城大学 所属: 成城大学	高橋 善博 たかはし ぜんひろ 所属: 成城大学 所属: 成城大学	山下 隼平 やまのたけ 隼平 所属: 成城大学 所属: 成城大学	村越 善俊 むらこし ぜんしゅん 所属: 成城大学 所属: 成城大学	町澤 大輝 まちざわ だい輝 所属: 成城大学 所属: 成城大学	Staff 監督・コーチ	栗原 孝一 栗原 孝一 所属: 成城大学 所属: 成城大学	坂山 尚 さかやま しょう 所属: 成城大学 所属: 成城大学	渡辺 善生 わたべ ぜんせい 所属: 成城大学 所属: 成城大学	高橋 善博 たかはし ぜんひろ 所属: 成城大学 所属: 成城大学	栗原 孝一 栗原 孝一 所属: 成城大学 所属: 成城大学

中央大学駅伝応援サイト
www.chuo-u.ac.jp/ekiden 検索

お願い
応援マナーを守った観戦をお願いします。
応援マナーについては、中大駅伝サイトを確認ください。
このパンフレットは、沿道に捨てずに持ち帰りましょう。

強い中大の復活、新たな歴史への挑戦

数々の栄光を創ってきた駅伝チームが、第89回箱根駅伝でまさかの途中棄権。優勝回数14回、6連覇は偉大なる先輩方が残してくれた歴史だが、最近はそのような面影が薄れつつある。途中棄権の屈辱を味わったチームだからこそ8回目の出場、85回連続出場への挑戦がなければならぬ。「強い中大の復活」と「新たな歴史への挑戦」をキーワードに、第90回箱根駅伝に挑む。

強い中大の復活 ~空白の290日~

前大会の第89回東京箱根間往復大学駅伝競走(通称:以下箱根駅伝)の結果は、誰も予想しなかった途中棄権で幕を閉じた。「0(ゼロ)」から出発する決意をした駅伝チームは、1年間を振り返るため、遠征した者を選手の前も自ら行く姿の中に誇った。しかし上り陣子のチーム状況にはならず、春の関東インカレでは、三冠一躍(3年)の入賞1つだけの結果に終わり、6月に開催された全日本大学駅伝予選会では15位と惨敗し、3本駅伝の1つを取りこぼした。その時の様子を浦田監督はこう語った。「途中棄権を繰り返して、チームがまとまらなければならぬ時期にチーム状況が悪かった」。主力選手を含め、ほとんどの選手の足が伸び悩んでいたのだ。

0(ゼロ)から1に...、そして100%に向けて

緊急事態のチーム状況を改善するため、専任から兼任コーチを招いた。坂山コーチと新藤選手は、駅伝チームのOBでもあり、厳しい言葉もある。途中棄権から空回り状態にあったチームが少しずつ変わったのは、とにかく「基本」に固まるというシンプリなことを実践した結果であった。チームの変化は、主力選手ではないメンバー(集団)から起きた。浦田監督は「主力選手は目に見えないプレッシャーから、怪我をしたり、体調が悪く長い時間がかかった。その雰囲気を変えてくれたのは、主力選手以外からのメンバーの存在でした」と語った。そして予選会を通過する喜びを共に自分自身の専任も日中から以内で通過したかったのが本音です。予選会を通過する喜びを共に自分自身の専任も日中から力ではないのです。残りの2カ月で他大と競えるように、しっかりと準備をしていきます。これは必ずしも時間通りにしてきただけから、本戦で喜びを満喫できるようにチーム一丸となっていきたい。中央大学駅伝チームは、虎視眈々と上位進出を狙っている。



新たな歴史への挑戦

8区・幻の区間賞 永井秀真(3年)

チームが途中棄権した前大会は、僕自身初の箱根駅伝出場でした。不安と自信が混じり合った状態で、大会3ヶ月前から前回のいく練習ができていたのを知り、やるべきことを意識に行っていました。5区でチームが途中棄権をした情報を知られた時は、何が起こったかわからなかった。山を下りて走った代田さん(生田)からのメールで気持ちが悪いです。しかも、幻の区間賞と聞かれました。しかも、僕が練習をこなし続けていたと思います。伝統ある中央大学は、誰先も走り出さず、伝統ある予選会12位だった箱根駅伝に目を向けず、やるべきことを意識に行っていました。個人的目標は、山登り区間の「15区」を走る事です。この区間は、各大学のエース級が揃う区間なので、自分の力かたは、予選会でも通過できる場所だと思います。チームスタッフのサポートがなければ、僕自身出場できなかったと思います。常に最高の気持ちをもって今までの苦痛を乗り越えています。



箱根駅伝を応援しよう!

~第90回箱根駅伝「おすめ応援人スポット」~
正月の風物詩、箱根駅伝。沿道で観戦される人数は毎年、数百万人にのぼる一大イベント。各区間の見どころを本誌本誌に聞いてみた。



1月2日・往路
【1区】東京・大手町スタート~鶴見中継所(距離:21.4km)
【2区】鶴見中継所~戸塚中継所(距離:23.2km)
【3区】戸塚中継所~平塚中継所(距離:21.5km)
【4区】平塚中継所~小田原中継所(距離:18.5km)
【5区】小田原中継所~箱根・芦ノ湖ゴール(距離:23.4km)
【6区】箱根・芦ノ湖スタート~小田原中継所(距離:20.8km)
【7区】小田原中継所~平塚中継所(距離:21.3km)
【8区】平塚中継所~戸塚中継所(距離:21.5km)
【9区】戸塚中継所~鶴見中継所(距離:23.2km)
【10区】鶴見中継所~東京・大手町ゴール(距離:23.1km)

この場所はアップダウンがあり、レースが動く重要なポイント。
この距離をしっかりと走れるかがチームの往路順位を左右する。
この付帯は、毎年いたずらな馬が選手を苦しめる。各大学のエース級選手がエントリで、順位変動が激しい。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。

スタートから一気に下る区間。ベース感覚が揃いづらく、横浜駅を通過した辺りから疲労を感じる。中継所まで残り約5kmの勝負どころ。
湖岸線から所街地に入り、急な坂になる地点。上りの走りが中継所までの平坦をしっかりと走れるかが鍵。
近年は「箱根の2区」と言われるほど重要な区間。6区の勢いをそのまま加速させたい。この区間から気温が上昇し、脱水症状になりやすい場所でもある。
1月3日・復路
【6区】箱根・芦ノ湖スタート~小田原中継所(距離:20.8km)
【7区】小田原中継所~平塚中継所(距離:21.3km)
【8区】平塚中継所~戸塚中継所(距離:21.5km)
【9区】戸塚中継所~鶴見中継所(距離:23.2km)
【10区】鶴見中継所~東京・大手町ゴール(距離:23.1km)

約13%の勾配傾斜を誇る場所。この場所に差し掛かる手前、数少ない平坦距離が長く、残りの区間に向けて、再度エントリを入れられるかが鍵になる。
1月3日・復路
【6区】箱根・芦ノ湖スタート~小田原中継所(距離:20.8km)
【7区】小田原中継所~平塚中継所(距離:21.3km)
【8区】平塚中継所~戸塚中継所(距離:21.5km)
【9区】戸塚中継所~鶴見中継所(距離:23.2km)
【10区】鶴見中継所~東京・大手町ゴール(距離:23.1km)

この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。

この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。
この場所は、山登りに向けて勢いを付けていた。コースでもある。